

# リチウムイオン電池：火災を防ぐ現場の安全ルール

## なぜ火災が起きるのか？（主な要因とリスク）

圧迫・衝撃・変形による内部ショート



収集車での圧縮や落下衝撃が、激しい発火の引き金になります。

「熱暴走」による急激な温度上昇



連続的に上昇し、火が消えにくい

## 当社特有の「延焼リスク」



当社特有の「延焼リスク」  
周囲の古紙に燃え移りやすく、  
夜間の無人時に被害が拡大する恐れ。

	リチウムイオン電池	乾電池（アルカリ等）
種類	 充電して 繰り返し使える	 使い切り
発火リスク	 高い (熱暴走の可能性)	 低い

## 事故を防ぐ！正しい取り扱いと緊急対応

保管の鉄則は「絶縁」と「隔離」



保管の鉄則は「絶縁」と「隔離」  
端子をテープで覆い、可燃物から離して  
金属容器で保管します。

発火時は「大量の水」で冷却し続ける



発火時水で冷却し続ける  
数百リットルの水で芯まで冷やし、  
1時間は監視

「溜めない・すぐに処分」が最大の防御



「溜めない・すぐに処分」が最大の防御

長期保管はリスク。発見次第、速やかに適正処分のルートへ回します。